

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書 (P)	部局名	教育部
款	項	目			課 名	スポーツ交流課
9	6	1	保健体育総務費	390		

I：事業概要

施策事業名	保健体育総務事務										
事業目的	様々なスポーツ振興事業の展開やスポーツ大会を開催することで、スポーツ意識の高揚を促し、市民の健康づくりに繋げることを目的とする。										
事業内容	●事業の全体計画 ・スポーツ分野での市民の活躍や取組みを一層推進するための事務事業を実施した。 ・スポーツ基本法第32条に規定するスポーツ推進委員会を中心に、市民のスポーツ推進に繋げる事業やスポーツ指導及び助言などを行った。また、各委員の職務を遂行する上で必要となる意識や能力や知識理解を支援した。 ・スポーツ活動を展開して市のスポーツ振興の中核を担う犬山市スポーツ協会と連携し、市民へのスポーツの更なる普及を図った。 ●主な事業内容 ・犬山市スポーツ賞表彰式の開催 ・全国大会等出場者激励費の支給 ・スポーツ推進委員会による事業の推進や協力 ・特定非営利活動法人犬山市スポーツ協会への支援 ●主な決算の内訳 <table><tr><td>・スポーツ賞記念品</td><td>471,344円</td></tr><tr><td>・全国大会出場者賞賜金</td><td>780,000円</td></tr><tr><td>・スポーツ推進委員報酬</td><td>1,223,476円</td></tr><tr><td>・レクリエーション・スポーツ講習会委託料</td><td>1,064,341円</td></tr><tr><td>・犬山市スポーツ協会補助金</td><td>15,000,000円</td></tr></table>	・スポーツ賞記念品	471,344円	・全国大会出場者賞賜金	780,000円	・スポーツ推進委員報酬	1,223,476円	・レクリエーション・スポーツ講習会委託料	1,064,341円	・犬山市スポーツ協会補助金	15,000,000円
・スポーツ賞記念品	471,344円										
・全国大会出場者賞賜金	780,000円										
・スポーツ推進委員報酬	1,223,476円										
・レクリエーション・スポーツ講習会委託料	1,064,341円										
・犬山市スポーツ協会補助金	15,000,000円										
事業の成果・効果	・競技スポーツにおいて優秀な成績を修めた市民への激励・顕彰を実施した。 ・市民のスポーツ活動を促進するスポーツ推進委員会事業を定期的に実施した。 ・年間を通じて定期的に軽スポーツの講習（講習会・派遣指導など）を実施した。 ・市スポーツ協会と連携し市内競技団体及びスポーツ少年団の活動等を支援した。										

II：個別事業内訳 (単位：千円) (見直し・点検進捗評価は4段階)

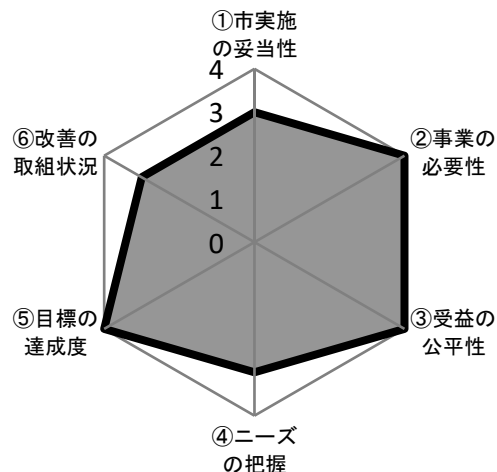
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
保健体育総務事務	2,094	0	2,094	100%	3	4	3
スポーツ推進委員	2,933	0	2,933	100%	4	3	3
スポーツ団体補助	15,000	0	15,000	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	20,027	0	20,027	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		17,934	20,027	20,786
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	17,934	20,027	20,786
一般財源の割合		100%	100%	100%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	スポーツ推進委員はスポーツ基本法によって関連事業を推進する役割がある。全国大会出場者等に対する激励費の支給や表彰などの民間による実施は期待できない。
②事業の必要性	4	市民が、豊かな生活をする上での有効な事業であり、健康増進に必要な事業である。
③受益の公平性	4	多数の市民を対象とした事業を展開した。
④ニーズの把握	3	参加者のアンケートを実施した。 アンケート結果を基に次年度の事業に反映できるよう企画した。
⑤目標の達成度	4	当初計画していた事業は全て実施し、目標は達成できた。
⑥改善の取組状況	3	各事業について広報やチラシを通じ積極的に発信しているが、市民の認知度をより高めていくため、イベント会場に出向き活動のPRや体験会を企画する提案をした。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	全国大会出場者に対して垂幕を作成し、市民ロビーに掲示する取組を進めた。 犬山市スポーツ表彰式の表彰受賞者が増加している中で、表彰式の開催が長時間にならないように効率的な授賞式の進行に努めた。
令和7年度に見直しを実施している事項	スポーツにおける激励費の支給対象となる競技種目等について、現状を踏まえ適切に運用できるよう検討を進めている。
今後見直しを検討する事項	市内や近隣地域において各団体等が実施している事業を検証し、スポーツイベントのより効果的な実施手法を検討をする。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
子どもから高齢者まで幅広い世代の市民がスポーツを楽しめる環境を整えるしていく必要がある。	スポーツ協会やスポーツ推進委員連絡協議会等の実施する事業の積極的な展開と効果的な情報発信を進め、ライフステージに応じたスポーツ活動が進められるよう、環境整備に努める。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)	部局名	教育部
款	項	目			課 名	スポーツ交流課
9	6	2	スポーツ振興費	392		

I：事業概要

施策事業名	スポーツ振興												
事業目的	様々なスポーツ振興事業の展開やスポーツ大会を開催することで、スポーツ意識の高揚を促し、市民の健康づくりに繋げることを目的とする。												
事業内容	●全体計画 - 様々なスポーツ分野において、市民が「スポーツに親しむ」や「体を動かす」機会を提供する。 ●主な事業内容 - スポーツ施設以外でも、市民にスポーツに親しむ場所を提供するため、学校体育施設の開放事業、市民プール代替事業（モンパプール利用の市民優待）などの事業実施 - 市民が参加できる各種スポーツ大会（愛知駅伝、ふれあい運動会、軽スポーツ大会、市民大会）の開催や協力支援 - マラソン大会（読売ハーフマラソン、いぬやまランニングフェスティバル）の開催 - いぬやまスポーツコミッションの運営 - 各種スポーツ関係団体への運営支援 - スポーツの普及や振興のためのスポーツ振興基金の積立 ●主な決算内訳 <table><tr><td>・学校体育施設管理業務委託料</td><td>1,897,412円</td></tr><tr><td>・各種市民体育大会委託料</td><td>3,876,933円</td></tr><tr><td>・いぬやまランニングフェスティバル事業費</td><td>3,953,156円</td></tr><tr><td>・読売犬山ハーフマラソン負担金</td><td>2,200,000円</td></tr><tr><td>・いぬやまスポーツコミッション負担金</td><td>671,000円</td></tr><tr><td>・スポーツ振興基金積立金</td><td>4,874,399円</td></tr></table>	・学校体育施設管理業務委託料	1,897,412円	・各種市民体育大会委託料	3,876,933円	・いぬやまランニングフェスティバル事業費	3,953,156円	・読売犬山ハーフマラソン負担金	2,200,000円	・いぬやまスポーツコミッション負担金	671,000円	・スポーツ振興基金積立金	4,874,399円
・学校体育施設管理業務委託料	1,897,412円												
・各種市民体育大会委託料	3,876,933円												
・いぬやまランニングフェスティバル事業費	3,953,156円												
・読売犬山ハーフマラソン負担金	2,200,000円												
・いぬやまスポーツコミッション負担金	671,000円												
・スポーツ振興基金積立金	4,874,399円												
事業の成果・効果	スポーツ振興においては、年間を通して学校体育施設の市民開放事業を実施してスポーツの場を提供した。スポーツ大会においては、市民大会(20競技)、ふれあい運動会(5小学校)を開催し、愛知駅伝(54市町村が参加)には犬山市チームとして参加した。マラソン大会では、いぬやまランニングフェスティバル(申込者2,153人、完走者1,944人)を開催した。読売犬山ハーフマラソン(申込者6,381人、完走者5,307人)を開催することができた。												

II：個別事業内訳 (単位：千円) (見直し・点検進捗評価は4段階)

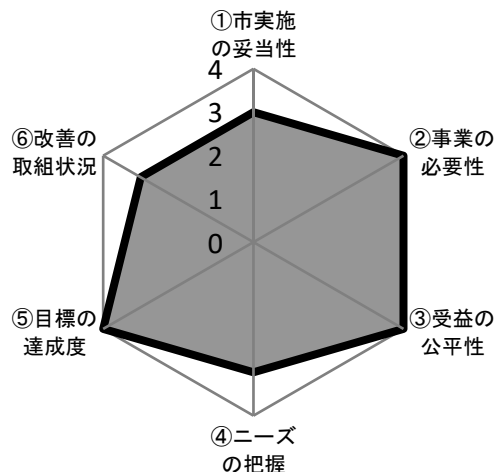
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
スポーツ振興	5,311	1,529	3,782	71%	3	4	3
スポーツ大会	5,450	685	4,765	87%	3	4	3
マラソン大会	6,364	6,364	0	0%	3	4	3
スポーツ振興基金積立	4,874	4,874	0	0%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	21,999	13,452	8,547	39%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		18,423	21,999	21,430
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	10,828	13,452	11,997
	一般財源	7,595	8,547	9,433
一般財源の割合		41%	39%	44%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	他の地域では、民間主体のマラソンやスポーツ大会等が開催されている事例があるが、採算性の確保が課題である。
②事業の必要性	4	市民がスポーツを通して豊かな生活をする上では必要な施策であり、健康増進に高い効果がある。
③受益の公平性	4	多くの市民を対象とした事業である。
④ニーズの把握	3	いぬやまランニングフェスティバルでは参加者にアンケートを実施して参加者のニーズ把握をした。
⑤目標の達成度	4	マラソン事業は計画通りに実施した。スポーツコミッション事業については、プロスポーツ支援などの事業を積極的に展開した。
⑥改善の取組状況	3	スポーツイベントにおける簡素で利用しやすい申込方法の検討を進めている。老朽化した各体育施設の予防修繕や改修工事を計画的に進めた。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	読売犬山ハーフマラソンについては、城下トンネルの開通に伴いコース検定を行い開催することができた。
令和7年度に見直しを実施している事項	スポーツコミッション事業の拡大を図るためスポーツ大会の誘致を進め、新たにスポーツ大会を拡充する。
今後見直しを検討する事項	市が主催しているスポーツイベントについて、市内外での他の先進事例を研究・検証し、効率的な大会運営や先進的な取組みを進めていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
地域経済の活性化につながるスポーツイベントを実施していく必要がある。	スポーツコミッションや、犬山市スポーツ協会などのスポーツ関係団体と連携しながら、地域の活性化につながるスポーツ大会を開催しスポーツを通じたまちづくりを推進する。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)	部局名	教育部
款	項	目			課 名	スポーツ交流課
9	6	3	体育施設管理	394		

I：事業概要

施策事業名	体育施設管理										
事業目的	体育施設を有効活用してもらい、市民のスポーツ活動の振興を図る。										
事業内容	●全体計画 ・ 武道館、弓道場、体育センター、フィットネスフロイデ、木曽川犬山緑地、山の田公園、野外活動センター、内田多目的広場テニスコートなどの公共スポーツ施設を、市民をはじめとした利用者がスポーツ活動を通して、生きがいづくりや健康づくりの場の拠点として利活用をする。 ●主な事業内容 ・ 各施設の維持管理（定期的な点検や修繕） ・ 各施設利用者の手続き受付や指導・助言 ・ 屋外体育施設の営繕工事 ●主な決算内訳 <table><tr><td>・ 屋内体育施設管理委託料</td><td>6,038,605円</td></tr><tr><td>・ フィットネスフロイデ管理業務委託料</td><td>55,799,961円</td></tr><tr><td>・ 屋外体育施設管理委託料</td><td>16,706,970円</td></tr><tr><td>・ 木曽川犬山緑地維持管理業務委託料</td><td>14,534,300円</td></tr><tr><td>・ 犬山市体育館太陽光発電蓄電池交換工事請負費</td><td>15,653,000円</td></tr></table>	・ 屋内体育施設管理委託料	6,038,605円	・ フィットネスフロイデ管理業務委託料	55,799,961円	・ 屋外体育施設管理委託料	16,706,970円	・ 木曽川犬山緑地維持管理業務委託料	14,534,300円	・ 犬山市体育館太陽光発電蓄電池交換工事請負費	15,653,000円
・ 屋内体育施設管理委託料	6,038,605円										
・ フィットネスフロイデ管理業務委託料	55,799,961円										
・ 屋外体育施設管理委託料	16,706,970円										
・ 木曽川犬山緑地維持管理業務委託料	14,534,300円										
・ 犬山市体育館太陽光発電蓄電池交換工事請負費	15,653,000円										
事業の成果・効果	スポーツ活動、健康づくり、参加者の交流の場として、市内の体育施設を、安全かつより快適な環境を維持した状態で市民をはじめとする多くの利用者に提供ができた。										

II：個別事業内訳 (単位：千円) (見直し・点検進捗評価は4段階)

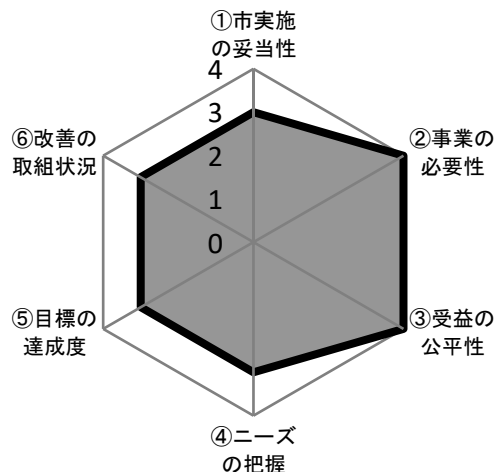
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
屋内体育施設管理	11,868	4,049	7,819	66%	3	3	3
フィットネスフロイデ管理	71,783	50,811	20,972	29%	3	3	3
屋外体育施設管理	47,778	4,722	43,056	90%	3	3	3
体育施設営繕	24,774	0	24,774	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	156,203	59,582	96,621	62%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		254,569	156,203	357,569
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	160,700
	その他	185,123	59,582	113,695
	一般財源	69,446	96,621	83,174
一般財源の割合		27%	62%	23%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	民間事業者による運営の可能性はあるが、市民がスポーツに親しむ環境を安定的に提供するために必要である。
②事業の必要性	4	市民がスポーツを通して豊かな生活をする上では有効であり、健康増進に必要な事業である。
③受益の公平性	4	多くの市民を対象とした事業である。
④ニーズの把握	3	各社会体育施設には、管理人を配置しているため、常時利用者をはじめ多くの方からの意見を把握を把握し運営管理に反映している。
⑤目標の達成度	3	エナジーサポートアリーナの太陽光発電施設や体育センターの鉄骨塗装などの老朽化した施設の改修を進めた。
⑥改善の取組状況	3	屋内体育施設への冷房機器設置など環境改善に努めた。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	体育センターのトイレ洋式化など、市民の利便性向上に資する改修を実施した。
令和7年度に見直しを実施している事項	各社会体育施設の現況調査を実施して、特に早急な修繕が必要な施設のリスト化を進め、修繕箇所の優先度を明確化する。
今後見直しを検討する事項	施設使用料について、市内優先のあり方を検討をする。 各社会体育施設における運用について統一した取扱いにするための検討をする。 施設予約システムの活用を検討し、利用者の利便性の向上を図る。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
各社会体育施設の老朽化に伴う大規模改修の計画を考慮にいれながら、さらなる利用率向上に向けて利活用のあり方を併せて検討する必要がある。	老朽化が著しい施設については、財源確保をしながら計画的な大規模改修を実施していく必要がある。また、利活用も各施設の特性を考慮しながら伸ばせる部分を検証していく必要がある

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)	部局名	教育部
款	項	目			課 名	スポーツ交流課
9	6	3	体育施設費	394		

I：事業概要

施策事業名	包括体育施設管理
事業目的	羽黒中央公園（多目的スポーツ広場・体育館）を適正に管理運営して活用してもらうことで、市民のスポーツ活動の振興を図る。
事業内容	●全体計画 ・指定管理者による羽黒中央公園（多目的スポーツ広場・体育館）の管理運営を適正に実施し、施設運営の効率化や活性化を推進し、市民をはじめとした利用者のスポーツ活動を通じた生きがいづくりや健康づくりの増進に寄与する。 ●主な事業内容 ・指定管理者による適正な施設の管理運営 ●主な決算の内訳 ・羽黒中央公園指定管理料 104,072,018円
事業の成果・効果	指定管理者による施設運営にするで、より弾力的にスポーツ活動、健康づくり、生きがいづくりの場の提供が可能となり、結果として市民をはじめ市外を含めた利用者が増加した。 また、指定管理者による自主事業により、チアダンス教室やトランポリン教室などの多種の教室が展開できたことから、様々なメニューを利用者に提供することができた。

I I：個別事業内訳

(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

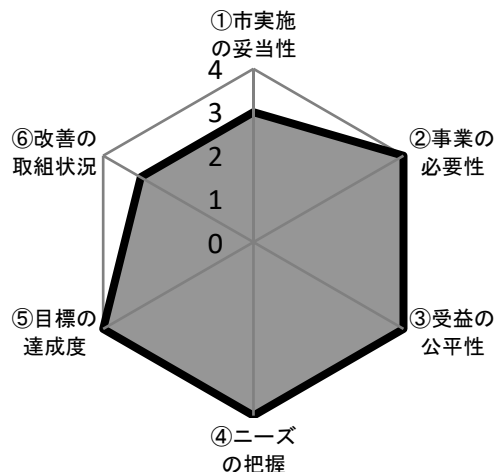
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
包括体育施設管理	104,235	2,551	101,684	98%	3	4	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	104,235	2,551	101,684	98%	3	4	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		105,730	104,235	105,727
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	2,406	2,551	2,001
	一般財源	103,324	101,684	103,726
一般財源の割合		98%	98%	98%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	市民がスポーツに親しむ環境を確保するために必要な施設であり、専門的知識ノウハウを活かした運営体制が確保されている。
②事業の必要性	4	市民がスポーツを通じた豊かな生活をする上では有効な施策であり、市民の健康増進に必要である。
③受益の公平性	4	多くの市民を対象とした事業である。
④ニーズの把握	4	指定管理者制度を導入して、受託事業者において常時利用者の意見を集約できる体制を整えている。
⑤目標の達成度	4	年間を通して安定した施設管理ができています。
⑥改善の取組状況	3	適切な指定管理業務のため、利用者からのアンケート（電子媒体含む）を実施して、サービス向上に繋げた。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	急騰する光熱水費に対応するため、指定管理者と協議し指定管理料を見直した。
令和7年度に見直しを実施している事項	施設の長寿命化に資する予防修繕等について整理し計画的に実施する。
今後見直しを検討する事項	安全に施設を利用してもらえよう、経年劣化が見られる設備の修繕について、対費用効果の高い改修方法を検討する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
建築年が一定経過による各機器のメンテナンスや修繕を実施するための費用の確保。	施設使用料の一部を施設協力金として積立しているが、将来必要な大規模改修工事に対応するための手法のあり方を検討する。